

広島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	海事英語基礎		
科目基礎情報								
科目番号	1922004			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科			対象学年	2			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	はじめての船上英会話（海文堂 商船高専海事英語研究会 編）、英和辞典							
担当教員	大山 博史							
到達目標								
(1) 航海英語の英文解釈ができ船舶において利用できる。 (2) 授業で実施した機関日誌及び報告書類について理解でき利用できる。 (3) リスニング・リーディングに慣れ船上英会話に利用できる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
	航海英語の英文が解釈できるとともに、英文を作文できる。			航海英語に関する基本的な単語を理解し英文を解釈でき船舶において利用できる。		航海英語に関する基本的な単語を理解していない。		
	機関日誌、報告書類の英文を解釈できるとともに、英文を作文できる。			機関日誌及び報告書類に関する基本的な単語を理解し英文を解釈でき船舶において利用できる。		機関に関する基本的な英単語を理解していない。		
	船上での英会話に必要な英語が発音できる確定英会話ができる。			船舶で用いられる単語の読み方がわかり船上英会話に利用できる。		単語を読むことが出来ない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	(1) 海事技術者として英語力の基礎を確実なものとするため、ここでは、海事英語の基礎を確立する。 (2) 航海系技術者として必要な航海英語の英文解釈、機関系技術者として必要な機関日誌、報告事項を中心に実施する。 (3) 船上英会話力を高めるためのリーディング、リスニング能力を養う							
授業の進め方・方法	教科書を用いて講義形式で行う 毎週確認のための小テストを実施する							
注意点	(1) 教科書及び配付資料を基に予習をしておくこと。 (2) 教科書、配付資料及び英和辞典を持参すること。 (3) 不明な点については、速やかに質問すること。							
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	航海英語の英文解釈		船内生活に関する英会話が利用できる			
		2週	航海英語の英文解釈		出港部署に関する英文が利用できる			
		3週	航海英語の英文解釈		入港部署に関する英文が利用できる			
		4週	航海英語の英文解釈		抜錨、投錨部署に関する英文が利用できる			
		5週	機関日誌及び報告書類		機器等運転に関する英文が利用できる			
		6週	機関日誌及び報告書類		主機運転に関する初歩的な英語が利用できる			
		7週	後期中間試験					
		8週	答案返却・解説 航海英語の英文解釈		運航に関する情報についての英文が利用できる			
	4thQ	9週	航海英語の英文解釈		操舵号令に関する英文が利用できる			
		10週	航海英語の英文解釈		自船の運航状況に関する英文が利用できる			
		11週	機関日誌及び報告書類		主機停止、終了に関する初歩的な英語が利用できる			
		12週	機関日誌及び報告書類		出入港時の機関室業務に関する初歩的な英語が利用できる			
		13週	航海英語の英文解釈		周囲船舶の状況に関する英文が利用出来る			
		14週	航海英語の英文解釈		気象に関する英文が利用できる。			
		15週	学年末試験					
		16週	答案返却・解説					
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ		小テスト及び課題	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	30	80
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10	20